

東村山稲門会ニュース第175号

平成23年10月8日発行

発行責任者:小亀 輝雄編 集 者:中村 眞弓

042-391-0581

URL http://members3.jcom.home.ne.jp/toumonkai/

11月20日(日)第16回総会が行われます

皆様のご出席をぜひともお願い致します

東村山稲門会第16回総会が11月20日(日)東村山駅西口のサンパルネ・コンベンションホールで行われます。総会は年に一度の大切な会で、1年間の活動報告や来年度の活動計画また決算報告などを行い、会員皆様のご承認を頂くことになっています。同封の出欠はがきを10月20日までにご投函下さい。ぜひとも多くの会員皆様のご出席をお願い致します。

総 会 次 第 (予定)

11月20日(日) 東村山駅・サンパルネ・コンベンションホール

第1部 総 会 14:00~15:10 第2部 講演会 15:20~16:30

> 早稲田大学・理工学術院・教授 早稲田大学・教務部長 大野高裕先生

第3部 懇親会 17:00~19:00 (年会費5,000円及び懇親会費5,000円をお支払い下さい。)

(同封の葉書でお返事をお願い致します。)

会からのお知らせ

○ 平成23年11月 定例役員会

日 時 平成23年11月5日(土) 13:00~16:00 場 所 ふるさと歴史館・視聴覚室 (17時より誕生会・丸藤)

○ 9月10日定例役員会での報告事項

9月10日の定例役員会で、慶弔規定の見直しについて話し合いがなされました。11月20日の総会での議決事項になりますが、事前にお知らせいたします。

東村山稲門会慶弔規定の弔事の項目見直し

- ① 対象者は「会員および会員の配偶者、父母、子」とありますが、「父母、子」は外します。
- ③ 「通夜等の弔問は可能なかぎり役員がする。」とありますが、「役員」を「会員」に改めます。

○ 11月、12月度合同お誕生会(担当幹事 滝川桜子 394-8187)

日時: 11月5日(土)17:00~19:00 場所: 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分

電話 042-395-5646

会費: 3,000円

多くの会員の皆さんでお誕生日の方のお祝いをしたいと思いますので、 ぜひご参加下さい。

会からのお知らせ 第175号

11月、12月生まれの方は、このお誕生会へご参加ください。お待ちしております。(2か月合同のお誕生会開催となりますため、12月お誕生の方もこの11月5日にお誕生会の実施となりますのでお間違えのないようご注意ください。)

尚、誕生月ではないが誕生月の方をご一緒にお祝いしてくださる方のご参加も歓迎いたします。また 誕生月該当者の方で、下記されていない方は担当幹事までご連絡ください。

☆ 11月度お誕生の方々(敬称略12名)

青柳真一,石川 武、小亀輝雄、小亀信雄、斎藤充美、佐藤守彦、中尾栄一、野村保夫、松坂伊智雄、高澤壽佳、清水 聡 、佐藤喜一郎

☆ 12月度お誕生の方々(敬称略14名)

一色泰久、井出 巌、江藤昌明、石塚征雄、川合幸雄、工藤崇士、當摩彰子、長野長正、藤澤博恭、藤巻 浩、益田昂、吉村 正、小森敏孝 山路和男

○ 第75回 雑学講座 (映画会)

日時 平成23年12月10日(土) 14:30 ~ 17:30

場所 サンパルネ 2 F コンベンションホール

映画題目 「二十四の瞳」 (原作壺井栄、監督木下恵介、主演高峰秀子、昭和29年) この映画は昭和前期戦争の時代を背景に若い女教師と12人の子供たちの成長の中での悦びと悲しみを綴った国民的傑作である。高峰秀子の魅力、子供たちの愛らしさに加えて、全編に小学唱歌と叙情歌が散りばめられ、叙情性豊かな名作である。

戦争に押し流されていく人々、貧困に悩まされる人々の 日々の生活を激昂する事無く描く事で、静かに反戦を主張している。

〇 他稲門会関連会議

立川稲門会第38回総会

日 時 平成23年10月29日(土)17時~

場 所 立川グランドホテル (田原総一郎氏の講演あり) 福田副会長・岡田副会長出席予定

☆ 大学関連ニュース

○ 国家公務員1種試験合格者

人事院は6月20日国家公務員採用試験の合格者を発表した。申込者は2万7567人、合格者は1390人で倍率は19.8倍。本学出身者は105人で昨年度71人から大きく増加した。

- 1. 東京大学 444人 2. 京都大学 167人
- 3. 早稲田大学 105人 4. 慶応大学 57人
- 会津八一記念博物館 10月3日~11月15日
 - 「会津八一コレクションの高句麗瓦展」
- 演劇博物館9月21日~11月13日「七代目市川團十郎 生誕 220 年に寄せて」
- 競走部 70年ぶりの関東制覇 競走部は第90回関東学生対抗選手権で67大会70年ぶりに男子1部総合優勝を達成した。
- ハンドボール部 全勝優勝 春季リーグ戦最終戦で筑波大学を破り、10年ぶり25回目の優勝を全勝で飾った。
- 〇 学生主催による「早稲田祭」は11月5日(土)・6日(日)に早稲田キャンパス・戸山キャンパス・学生会館で行われます。今年は2002年に新生早稲田祭として生まれ変わってから10年目を迎え、テーマは「一歩先」の自分がぶつかり合う10年目の早稲田祭。参加団体500、来場予定者数約16万人、全国一の規模を誇ります。

☆ サポーターズ倶楽部寄付金

2009年からスタートしたサポーターズ倶楽部の昨年度会員は2000名を超え4億8千万円という多額の支援を頂きました。その中から1億円を当て、東日本大震災学生奨学金に6,000万円、ボランティア活動支援に2,000万円、復興に関する研究の支援に2,000万円を活用させて頂いた。またサポーター倶楽部の他に義援金、救援金が稲門会等からお寄せ頂き、本学学生への支援515件3,60万円、一般被災者への義援金80件570万円、校友会救援金104件1,330万円、合計700件5,560万円余の多額の寄付を頂きました。

訃報

当会会員大原康さん(萩山町・S33商学・76歳)には、9月2日逝去なされました。 心からご冥福をお祈り致します。

なお、奥様から9月11日にご連絡を頂き、すでに通夜(9月5日)告別式(9月6日)はすまされておりましたので、9月13日に小亀会長・當摩副会長およびポストマンをして頂いております内藤幹事の3人でご自宅に弔問に伺いご香典を差し上げお花をお供えし、お焼香をさせて頂きました。

平成23年9月・10月度合同「お誕生会」



担当幹事 滝川桜子 394-8187

9月・10月の合同お誕生会が、9月10日(土)いつもの割烹丸藤(久米川駅南口徒歩1分)で行われました。参加者は、9月生まれ10月生まれのお誕生者とお誕生者を共に祝うため出席した幹事等の参加があり、合計で23名でした。

会は、滝川桜子さんの進行のもと、小亀会長挨拶、記念品のプレゼント、當間副会長乾杯の後、お誕生者を中心に歓談、親睦、情報交換が図られました。その中で、お誕生該当者各氏から、5分ほどのスピーチをいただきました。 9月生まれは、5名(青山稔、市川暢男、月森通夫、戸田志郎、丸本聡明さん)、10月生まれは、2名(小永井哲哉さん、町田和夫)で、その主な内容は、次のとおりです。

青山さん~45年間の会社勤務を終え、自由の身になりました。これからも、健康が第一であり、スポーツクラブに通っている。ウォーキングの会を楽しみにしている旨。市川さん~学生時代、ボート部で現在も週2回の練習に参加し、早慶戦(オーバー60)の試合に出場している。東村山市体育協会副会長の立場で、2013年開催の国体(東村山市ではバスケットボールの競技)の準備を進めている旨。月森さん~自宅近くの中央公園がホームグランドで毎日周辺の散歩(1日1万歩)、地域活動を楽しんでおり、健康管理に努め、生きている間は元気でいたい旨。戸田さん~自宅近くの多摩湖周辺を毎日1時間程歩いている。3月11日は高田馬場で大地震に遭遇し、帰宅難民となる。原発事故を通して、エネルギーのこれからのあり方を考えさせられる旨。丸本さん~俳句同好会、囲碁同好会に参加し、楽しんでおり、仲間と知り合えて幸せです。原書の翻訳をしています旨(検索をさせてもらうと、檻の中の人間、物的証拠他多数)。小永井さん~本日は、日本ハム戦(投手:斉藤佑樹)を観戦しての帰り道。俳句研究会(学生会館4階)に4年間所属し、早稲田では俳句で過ごす。健康のため、ウォーキングを楽しんでいる旨。町田~33年間の組織生活を終わらせ、次の生活に歩みだすべく勉強中。シドニー(オーストラリア)が大好きで、5年後を目途に、日本とシドニーでの生活を目指している旨。

皆さん、それぞれ、様々な貴重な社会経験、知識、趣味を持ち、また、早稲田大学の生き字引である 方々もいらして、なごやかな歓談の中、お誕生をお祝いするとともに、貴重な出会い、情報交換の場に なったと感じられました。

最後に、小亀会長のリードのもと、東村山稲門会の歌と校歌が声高く斉唱され、福田副会長から終りの言葉をいただき、お開きになりました。お誕生会は、それぞれの現状の過ごし方、健康対策、現在取り組んでいることなどを語り、会員の親睦を図ることに役立ち、会の活動の中で、会員同士の出会いの基礎の場ともなると感じました。そして現在10ある同好会へ参加されるきっかけとなることもあるのではないかとも思いました。

(町田 記)

同好会だより

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加 できます。

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934 石川 武 394-4702



◆ 「第 30 回稲門会ゴルフコンペ」 紅松 喬さん優勝!!

9月16日の金曜日、我らのホームコース「西武園ゴルフ場」において、第30回の稲門会ゴルフコンペが開催されました(当日幹事は相馬信一・鍋島高明のお二人)。当日は快晴、暑さの中にも何処となく秋の気配が漂う絶好のゴルフ日和。1か月も前からエントリーしていた5組20人が一人も欠けず、8時28分スタート。

結果は第3位に常に上位入賞の堀田秀夫さん、第2位に前回初参加でいきなり第3位入賞をさらった滝来洋二さん、そしてグロス78の見事な成績を上げた紅松喬さんが優勝されました。また、今までは堀田秀夫さんの独擅場であったベストグロス賞も紅松さんが獲得、今後のお二人の争いが楽しみにとなりました。

プレー後の表彰式・懇親会は大いに盛り上がり、早くも忘年コンペ、 3月の第31回稲門会コンペの日程まで決めようかという鼻息。いやあ、 皆さん、いくつになっても、気が若いですねえ。

◆「稲門会忘年ゴルフ」と「第31回稲門会ゴルフコンペ」のお誘い

そういう訳で、12 月に忘年ゴルフを「飯能カントリー倶楽部」で行うことを予定しています。 詳細は、後刻お知らせいたしますが、ご希望の方は、代表世話人井垣和太(04-2924-2934)まで、お申し込みください。

また、次回「第 31 回稲門会ゴルフコンペ」は(鬼さん、笑わないでください!)平成 24 年 3 月 23 日 (金)、西武園ゴルフ場で行います。これについても、また細かく、お知らせいたしますが、多くの皆様のご参加を期待しております。ご希望の方は、世話人石川武(042-394-4702)まで、お申込みください。

◆ 第3回早稲田大学校友会ゴルフ大会参加者 決まる!!

来る 11 月 10 日 (木)、久邇カントリークラブで行われる「第 3 回校友会ゴルフ大会」に、東村 山稲門会からは次の 4 名の方々が代表プレーヤーとして参加されることとなりました。

紅松 喬さん・相馬 信一さん・益田 昂さん・吉田 勝さん

前回までにも増して、強力な布陣を組み、しかも大会 1 週間前には練習ラウンドを行うという 熱の入れようの 4 氏。今回は相当期待を持てそうです。

会員の皆さん、是非12月の稲門会ニュースをお見逃しなきよう!!

音楽同好会 (稲穂会) 世話人 髙橋文子 TEL 393-2676 # # # # # # 391-6443



10月の例会は2日に恩多ふれあいセンターで開催されます。この 模様は次回ニュースでお伝えします。なお、11月の例会は未定です が、12月には一年の締めくくりを兼ねた例会を予定しております。 元気に歌えることを感謝しつつ楽しみたいものです。次回のニュース を御覧の上、是非大勢の方が参加されますようお待ちしております。 第175号 同好会だより

カラオケ同好会



世話人 内藤 慎 TEL 393-5071

9月例会は9月10日開催。参加者が5名と少なく少し寂しい一夜では有りましたが、おもいきり歌う事が出来皆満足。12月の決戦に焦点を絞り各各秘策を練り、後2ヶ月が楽しみです。みなさまの健闘を期待いたします。

今後の予定

10月8日(土) 11月5日(土)

19:10より カラオケランド ズー

郷土奥の会



世話人 江藤昌明 TEL 391-4076 伊藤友己 398-1352

9月18日(日)郷土史の会では、春に予定していました川越の史跡巡りを実施しました。今回のテーマは中世の川越を見ること。川越と言えば、やはり江戸時代以降の姿が気になります。しかし川越は江戸城と共に太田道灌の主君扇ケ谷上杉氏の活動の中心となった場所です。石神井城、沼袋や鷺宮の戦いなど私たちの間近な場所が川越とも密接な関係を持っていました。

今回は、仙波東照宮、喜多院、川越城本丸御殿、歴史博物館を巡りながら東村山と関わる川越の姿を追い求めて頂きました。百丈という建物が市の文化財になっているおそ

ば屋さんで遅い昼食を摂り、午後は自由解散で市内の中心部をそれぞれ散策して頂きました。参加者は会長ご夫妻を含めて10名でした。

なお次回の郷土史の会は、11月6日(日)にふるさと歴史館で学芸員の千葉氏による「狭山丘陵から見た古代の東村山」の展示解説を受けたいと思います。

瓦塔に関する新しい見方が紹介される予定です。一般の方と混じって解説を受けることになりますが、希望があればその後瓦塔の所在地を訪れてみたいと思います。興味のある方は是非ご参加下さい。

日時:11月6日(日)13:30

場所:ふるさと歴史館

囲基同好会



世話人 福 田 晃 TEL 394-0593 高 鷲 近 394-2336

●「第23回東村山稲門会囲碁大会」を下記の要領で開催します。 年2回の大会です。奮ってご参加ください。

日 時 …… 平成23年10月15日(土) 午後12時30分開始

場 所 …… 市民センター別館 第4会議室

会 費 …… 賞品代500円(当日ご持参ください。)

○開始時間、場所がいつもと異なりますので、ご注意ください。

世話人がお電話で参加の有無を確認させていただきますので、その 節はよろしくお願い申し上げます。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



今回は、先月8月28日(日)に行われた8月例会について報告します。 8月例会は、運動公園 Aコートにおいて、9時から11時まで行われま した。

それまで曇りや雨の日が多かったのですが、当日は快晴となり、参加者 も多く、熱戦を展開しました。

この日は、野田さん(早稲田OB) 夫妻が初参加し、新風を吹き込んでくれました。

参加者は、市川(彰)夫妻、江藤夫人、小菅、高橋(一)、戸田、福田(昇)、野田夫妻の各氏と田島の10名

また、9月の例会は、雨でコートの状態が悪く中止となりました。

次回例会は、10月3日(月)15時~17時 久米川コート 3番で行われます。

園芸の会

世話人 當摩照夫·彰子 TEL 396-3033



今年もまた暑い日が9月の下旬まで続きましたが、彼岸を境にようやく 収まったようです。次回の園芸の会は、秋蒔き草花の苗の交換会です。下 記の通り、11月9日を予定しております。まだ種を蒔いていない方も、 まだまだ間に合います。いろいろ新しい種類にも挑戦して、是非多くの方 の参加を期待いたします。

日時 平成23年11月9日(水) 午後3時~5時 場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

惟甸同好会(稲酔会) 世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第58回は10月22日(土) 午後2時から「丸藤」で開催します。 今回の兼題は「柿」です。日本を代表する果実と言えます。形や大きさ もいろいろですが、花のときの四片の萼(がく)が実が熟する最後まで残 るのが特徴で、残った萼のことを蔕(へた)と呼んでいます。

里古りて柿の木持たぬ家もなし 芭蕉 朝の柿潮のごとく朱が満ち来 楸邨 柿食ひぬ少年の日もかく食ひし 子龍

「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺 子規」が余りにも有名なので、却って詠み辛いかも知れませんが、柿の木や柿の実を自分の目で見て、あるいはこれまでの、柿にまつわる話題を思い巡らしながら、五・七・五にまとめ上げて下さい。

甘柿、渋柿、富有柿、次郎柿、樽柿、干柿、柿膾、木守柿などが使えます。

(稲雀 記)



「台地の農業と農家のくらし」(最終)

江藤 昌明 (S27政経)

④思いだす衣食住のことなど

東村山も近代化され人口は急増し、かつての農村の姿を余りみることもなくなってきたので、思い出しながら昔の農家の生活を少したどってみたいと思う。

農作業のときの服装は、男は野良着(のらぎ)用のハンテンを着て、モモシキを履き、手っ甲にキャハンと地下足袋姿で、女は筒そでにモンペという姿が一般的であった。

水田の少ない当地の主食は畑の大麦であった。陸稲からとれる米は生産量が少なく、常食はひき割り麦か押麦に少し米を混ぜる程度の黒っぽいめしであった。

祝いごとなどがあるときは、おこわ・おはぎなども食べられたが、ときによっては保存しておいた栗・キビ・モロコシなどを使った餅を食べることもあった。

小麦の粉で作る手打ちうどんも当地の常食であった。粉をよくこねて、めん棒でのばす力仕事は男衆が受け持ったことが多かった。ゆでたうどんをつゆにつけ、カテと薬味を入れて食べる味は格別で、今でも当地の名産として名高く、近隣一帯であきることなく食べられている。また冠婚葬祭にもうどんは必ず使われていた。更に小麦粉は焼きだんご・煮だんごなど主食にも副食にも好まれ、お茶菓子には麦こがしやホーロク焼きなどにもなった。

当地一帯の土壌はさつまいもの生産にも適しており、村人はうどんと同様にさつまいもも常食にしていた。種類は金時・おいらん・農林・沖縄等があったが、おいしい金時が一番多く生産された。畑仕事の休憩時には、お茶や漬物と一緒にふかしたさつまいもが畑に持ち込まれた。

休憩時にはときどきじゃがいも・さといもなども出た。またさつまいもの粉を握って作った黒いさつまだんごが出ることもあった。

漬物はどこの農家でも大根を干して大樽に漬けたたくあんであり、お茶は農家が庭先で汗を流しながら 手でもんだ狭山茶で、これがさつまいもに合い本当においしかった。

ほとんどの農家にいろりはあった。いろりは暖をとるだけでなく、自在かぎで湯を沸かしたり煮炊きにも使い、炉端は休憩や団らんの場として役立った。

農作業に使う道具類で先ず思い出されるのは鎌・鍬・鋤・万能などがあり、物を入れるには木製の桶・樽・竹製の籠、運搬には大八車・リヤカー・天秤棒などがあった。更に脱穀用には千歯こき・箕・唐箕・足踏又は動力脱穀機などもあった。また廊下の隅には絣(かすり)織物を作る機織機が置いてあった。

これらの道具類は今も使われているものもあるが、大部分は機械化に伴い使用されなくなった。それらを使っていた農作業の思いでの一例をあげてみよう。

労働にとって一番うれしいのは収穫である。先ず陸稲や麦穂などの脱穀には金ぐしでできた千歯こきを使い、穂を落とし、穂から実と藁くずをとり離すため、くるり棒を使って棒打ちをやり、更に箕をあおって藁くずを吹きとばし実だけを残したものである。

この千歯こきから棒打ち作業後の処理は、手廻しの唐箕(とうみ)ができてからやらなくなり、更に昭和10年代半ば頃に足踏脱穀機ができると千歯こきも使われなくなり、その後は動力脱穀機の出現によって農作業の労働も非常に楽になった。

⑤終わりに

近来の東村山は郊外の住宅都市として発展し、それに伴い自然環境も昔の面影を残すものも少なくなってきております。思い出すままに、とりとめもなく書いた拙文が、かつての農村の生活を思い出す一助ともなり、少しでも興味をもたれることがあればうれしく思います。

俳壇・編集局だより 第175号

同好会等 短期予定表												
同好会·行事	10月 (ニュース掲載月)					11 月 (予定)					世話人	
	田	曜	時間	場所	備考	月	曜	時間	場所	備考	(問合せ先)	
ウォーキングの会		_	_	_		18	金	9:00~	三鷹天文台・深え	大寺	高橋正	042-309-3407
郷土史の会	_	_	_	_		6	日	13:30~	ふるさと歴史館		江藤	042-391-4076
テニス同好会	3	月	15:00~17:00	久米川コート3		12	土	9:00~11:00	運動公園A		田島	042-396-7676
	17	月	9:00~11:00	久米川コート3	予備日	26	土	9:00~11:00	運動公園A	予備日		
囲碁同好会	15	土	12:30~	市民センター別館	Ĩ	_	_	_	_		高鷲	042-394-2336
カラオケ同好会	8	土	19:10~	カラオケランドズー		5	土	19:10~	カラオケランドズー		内藤	042-393-5071
園芸の会	_	_	_	_		9	水	15:00~17:00	スポーツセンター		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	_	_	_	_		_	_	_	_		小野	042-391-9523
音楽同好会	2	日	14:00~	恩多ふれあいセンター	-	*	*	*	*		高橋文	042-393-2676
俳句同好会	22	土	14:00~	久米川「丸藤」		_	_	_	_		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	_	_		_		10	木	全国大会	おおむらさきcc	校友会	井垣	04-2924-2934
雑学講座	8	土	15:00~16:30	ふるさと歴史館		_	_	_	_		當間	042-391-6023
一 : 対象月に 開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。 詳細は世話人にお問合せ下さい。												

編集局だより

10月16日は「稲門祭」へ

秋の一日を母校で過ごしませんか

○毎秋、ホームカミングデーと同日に開催される「稲門祭」は、全国の校友が集う校友会最大のイベントです。トークイベントやプロゴルファーによるゴルフクリニック、稲門寄席、稲門音楽祭などのアトラクションのほか、豪華賞品が当たる福引き抽選会、各種模擬店の出店もあります。12時から大隈講堂前でオープンセレモニーがあります。大隈庭園内に三多摩支部のコーナーもありますので、是非お出で頂き秋の一日を早稲田の杜で過ごしましょう。(小亀)

○次号**の原稿締め切りは10月21日(金)です。**よろしくお願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳 壇

天高し乎及りっ ニー ここ 出 田 実対岸にぽっ - と点りし彼岸花一分のこだわり捨てて破れ芭蕉ー分の もう九月刻が死者老いずか 野台 太極を舞ふ師の肩に赤とん、天高し呼吸ゆったり太極拳 田釣 やかな流-パす夫流さ-**一身魂目指.**、シホール 賊連の 分けあと枝葉折に倦みて見やる 仕 花の 一枚出来率先の早稲を刈る仕掛け指に新涼感じつつ 八 木やかな流れや亀の甲羅干しす夫流される妻盆送り (九月号掲句差し替え) 一して明日の晴まの吐息外堀明けて 今日 粒 指して生きる日々楽しルの夜露仄かに街眠る高 部 糸て明日の晴天疑わず 和噛みて酒を飲み口を限りと鳴き続け 止め まねる がれ散る青天井の葉先に露ひとつ 蝉湖。内のの戸 藤声森 ぼ ぬ月 ま る扇 ぞ 哲 稲 糸 竜 愼 稲 北 平 穂 湖 窓 雀 行 哉 生